

災害医療センター

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 馬越 健介(救命救急センター長、災害医療センター長)
○八木 草彦(消化器外科主任部長、救命救急センター副センター長、消化器病センター副センター長、災害医療部長)

2. 運営方針

当院は「基幹災害拠点病院」に指定されており、東南海・南海地震等の大災害に備え、愛媛県内の災害拠点病院、自治体、関係機関と協力し、愛媛県全域の災害医療体制の強化に取り組んでいます。また、愛媛県には原子力発電所があり、原子力災害医療の体制整備も必要です。福島第一原子力発電所事故を教訓にし、原子力災害医療体制の在り方を定期的に検討しています。

3. 実績

<過去の活動>

- 2011年 3月 東日本大震災
- 2011年 3月 福島原発事故
- 2016年 4月 熊本地震
- 2018年 7月 西日本豪雨
- 2020年 7月 熊本豪雨
- 2024年 1月 能登半島地震

<訓練>

県内の災害拠点病院だけでなく、消防機関や行政等と連携する訓練を行っています。

- 2024年10月 松山市医師会大規模災害訓練
- 2024年10月 愛媛県原子力総合防災訓練
- 2024年10月 松山空港航空機事故対処総合訓練
- 2024年11月 松山市総合防災訓練
- 2024年11月 DMAT中国ブロック実動訓練(広島県)
- 2024年12月 DMAT四国ブロック実動訓練(香川県)

<講習会開催>

- 愛媛県災害医療従事者研修会(MCLSコース、2024年1月)
- 災害看護研修会(県内の看護師対象、2024年12月)

4. 2025年度目標

- (1) BCP(事業継続計画)に基づいた災害対応
- 感染症流行の教訓から得られたBCPの改訂
 - 災害対策マニュアルの改訂(BCPと整合性のとれた院内災害対策マニュアルへ)
 - 被害想定に基づく病院評価
- (2) 原子力災害医療
- 原子力災害医療拠点病院としての整備
 - 原子力災害協力機関研修の推進

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 馬越健介、田中光一、竹葉淳(愛媛大学医学部救急航空医療学講座). 大規模災害時の県外への医療搬送計画の共有について. 第40回日本救急医学会中国四国地方会. 広島 (2024.5.17-18)

2. 馬越健介、橘直人、田中光一、芝陽介、佐藤裕一. 地域における今後の原子力災害医療を考える. 第40回日本救急医学会中国四国地方会. 広島 (2024.5.17-18)